

# 締め一杯

白河は全国的にも知られるラーメン処で、市内には100軒を超す店が点在しています。ラーメンへのこだわりを持ち、おいしさを追求する店主たちの思いを紹介します。

## 第5回

### 白河ラーメンむげん



住所：大観音前17-3  
営業時間：11:00～（品切れ次第終了）  
定休日：水曜日、第2・4木曜日

昨年10月4日にオープンした「白河ラーメンむげん」。店主の辺見忠正さん（62歳）は、定年退職を期に家族の後押しを受け「得意な料理を生かせる小さなお店を持ちたい」という長年の夢を実現させました。むげんにはラーメンの持つ無限の奥深さと、夢を実現するというふたつの意味が込められています。

初代とら食堂、竹井寅次さんのラーメンに衝撃を受けて以来、すっかり白河ラーメンに魅了された店主。20年ほど前から趣味でラーメンを作りはじめ、独学で試行錯誤を繰り返して、ようやく現在の味にたどり着きました。

おすすめはチャーシューメン。スープは鶏がらベースのさっぱり系醤油味。国産豚の生肩ロースのみを使用したチャーシューは、炭火で1時間程焼いてから醤油でじっくり煮込むため、柔らかさとしっかりとした歯ごたえを兼ね備えた自慢の一品です。

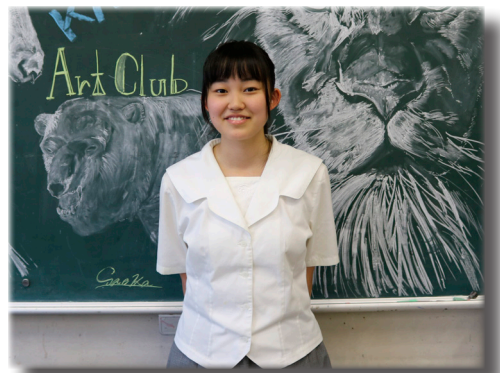
「まもなく1周年を迎えます。女性のお客様が1人でも気軽に立ち寄れるような、清潔で居心地の良いお店づくりを目指したい」と新たな夢を話してくれました。

## 人物Report

～注目のあの人を紹介～

鈴木 冴佳さん

8月6日・7日の両日、高知県で開かれた「第25回全国高等学校漫画選手権大会（まんが甲子園）」に出場した白河高2年美術部の鈴木冴佳さん（中央中出身）。同大会では、チームのリーダーとしてメンバーをまとめあげ、自身の目標「5時間30分の制限時間内に納得できる作品を仕上げる」を達成し、初出場ながら決勝戦に進みました。「普段は油絵の技術と表現力を高めることを目標に、制作に取り組んでいます。古い美術品から当時の様子を感じ取ることが好きで、将来は美術の研究職を目指したい」と爽やかに話してくれました。



《白河市ホームページ》



最新の情報をチェック

《i 広報紙》



アプリで情報チェック

《白河市公式ページ》



旬な話題をチェック

「広報白河」は、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用しています。